

記入例

「必要な研究基盤」に関する諮問・検討事項について（ワークシート）

1. 第18回核融合研究作業部会でのロードマップ（参考資料1）との関連性（批判的であってもよい）において、中長期的プランを時間軸に沿ってご記入下さい。

記入項目：

1) 課題

組織を越えたオールジャパンによる原型炉設計チーム作り

2) 目的

原型炉の具体的なイメージを作るとともに、設計活動を通じて人材育成を図る

3) 主体となる担い手と体制（単独、国内協力・連携、国際協力、新たな組織の必要性）

JAEA あるいは NIFS を拠点とし、国内協力、連携で行う。

4) 規模（人員、予算）

コアとなる人員は 10 人程度。予算は？（米国の ARIES は年間約 5 億円）

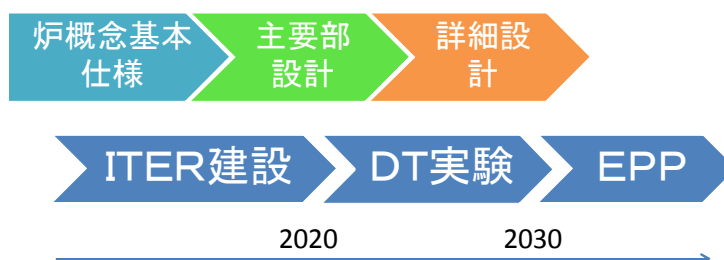
5) 前提となる必要条件や制約条件

BA 活動との連携協力特に IFERC との関係が重要。ITER/BA 活動が本格化する中で作業設計は「コンペティション」の環境下で行われる必要がある（「最適」の多義性）。そのためには、複数のグループが競い合う状況を作る必要がある。

6) いつまでに、どこまでやる必要があるか

ITER での連続核燃焼が確認される時点で、原型炉製造設計への移行に必要な完成度に達している必要がある。

核融合を支える多様な要素技術開発に対して、時機を得た情報発信が可能となるように、ロードマップを念頭に（かつ適宜改訂しつつ）、重点項目を設定しつつ作業を行う必要がある。



2. 分析に必要な指摘をご記入下さい。

記入項目：

1) 依存関係についての留意事項

ITERの進捗状況に完全に依存せざるを得ないかどうか。

設計作業において明らかとされる必要な工学技術R&Dをどこが担当するか。

設計研究は、要素技術の集積であると同時に、問題点の発見と要素技術へフィードバックするという意義が大きい。核融合エネルギー開発を支える多様な要素技術研究（炉心プラズマの最適化や計装も含む）との密接な情報交換が可能な組織と運営の設計が必要。

2) 問題点の抽出

2-1) 時系列の矛盾

ITERの進捗状況

2-2) 決定的事項であるにもかかわらず、落ちていること

建設・製作に実地経験がない若手を、経験を培う場が乏しい中、どのように育成するか

2-3) それらの理由

EDA規模の活動がなくなったこと

3. その他（ご自由にお書き下さい）

設計チームは若手を中軸として、複数あることが望ましい。陣容は全体を俯瞰できるマネージャーから、モノ作りという観点で経験のある他分野のエンジニアの参画など多様であることが望ましい。

「必要な研究基盤」に関する諮問・検討事項について（ワークシート）

1. 第18回核融合研究作業部会でのロードマップ（参考資料1）との関連性（批判的であってもよい）において、中長期的プランを時間軸に沿ってご記入下さい。

記入項目：

1) 課題

2) 目的

3) 主体となる担い手と体制（単独、国内協力・連携、国際協力、新たな組織の必要性）

4) 規模（人員、予算）

5) 前提となる必要条件や制約条件

6) いつまでに、どこまでやる必要があるか

2. 分析に必要な指摘をご記入下さい。

記入項目：

1) 依存関係についての留意事項

2) 問題点の抽出

2-1) 時系列の矛盾

2-2) 決定的事項であるにもかかわらず、落ちていること

2-3) それらの理由

3. その他（ご自由にお書き下さい）